

山口県周防大島町への 体験型修学旅行ご提案書

すおうおおしまちょう

山口県周防大島町

感動☆島体験

海と山 自然がいっぱいの島は 笑顔がいっぱい 感動がいっぱい



海



山



感動



広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会

〒730-8510広島県広島市中区基町5-44 広島商工会議所

TEL:082-555-8081 FAX:082-222-6622

周防大島町体験交流型観光推進協議会

〒742-2301山口県大島郡周防大島町大字久賀5134

(役場商工観光課内)

TEL:0820-79-1003 FAX:0820-79-1022

※本資料に記載されている料金は、2019年11月現在のものです。



(1) 概要・コンセプト

- ◆ 瀬戸内海の南に浮かぶ気候温暖で自然豊かな人情あふれる町です。みかんの産地でもあり、山口県全体の約8割を占めるほどの生産があります。また、鯛の一本釣り、イワシ網漁やタコ漁などの沿岸漁業が盛んです。
- ◆ 周防大島ならではの海と山の自然を生かした豊富な体験と高齢者を中心とした地元住民との心の交流が魅力です。
- ◆ 当地域では、生徒への指導方法や安全対策等の研修会を年1回以上開催し、安心・安全で質の高い受入を目指しています。
- ◆ 受入実績(2013~2019年。2020年は予定。2008年から受入開始)

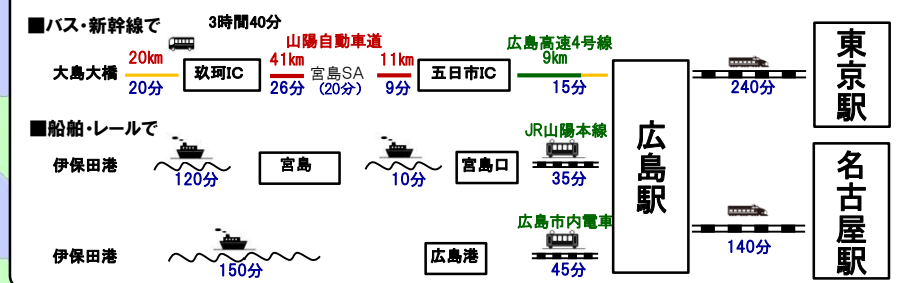
2013:小1校・中9校・高6校 **計16校 2,353人** 2014:小2校・中9校・高7校 **計18校 2,881人**
 2015:小1校・中10校・高8校 **計19校 3,480人** 2016:小0校・中12校・高9校 **計21校 3,586人**
 2017:小1校・中15校・高8校 **計24校 3,961人** 2018:小1校・中13校・高6校 **計20校 2,580人**
 2019:小1校・中19校・高4校 **計24校 3,159人**



(2) 交通アクセス

- ◆ **バスで**
 平和記念公園 80km 周防大島(大島大橋) 約90分
 (平和記念公園⇒広島高速4号線⇒五日市IC⇒玖珂IC⇒大島大橋)
 宮島口 60km 周防大島(大島大橋) 約70分
 (宮島口⇒国道2号⇒大野IC⇒玖珂IC⇒大島大橋)
- ◆ **船(チャーター便)で**
 広島市内(広島港) 約150分
 呉市(呉港) 約120分
 宮島(桟橋) 約120分
 松山市(三津浜港) 約80分
- ◆ **最寄駅・IC・空港**
 JR山陽本線⇒大島駅 新幹線⇒新岩国駅・広島駅 高速道路⇒玖珂IC
 空港⇒岩国錦帯橋空港

(3) 帰路



(4) 船便料金表

航路	伊保田港 ⇄ 宮島港 (チャーター便)			伊保田港 ⇄ 宮島港 (チャーター便)		
	銀河	はやしお	ロイヤル千鳥	銀河	はやしお	ロイヤル千鳥
定員	270人	90人	160人	270人	90人	160人
大型バス所要時間	乗船不可	乗船不可	乗船不可	乗船不可	乗船不可	乗船不可
料金	(月~金)	全日	全日	(月~金)	全日	全日
	650,000円	400,000円	600,000円	650,000円	400,000円	600,000円
運航可能期間	周防大島発 14時頃の出発まで			周防大島発 15時頃の出発まで		
	瀬戸内海汽船			瀬戸内海汽船		

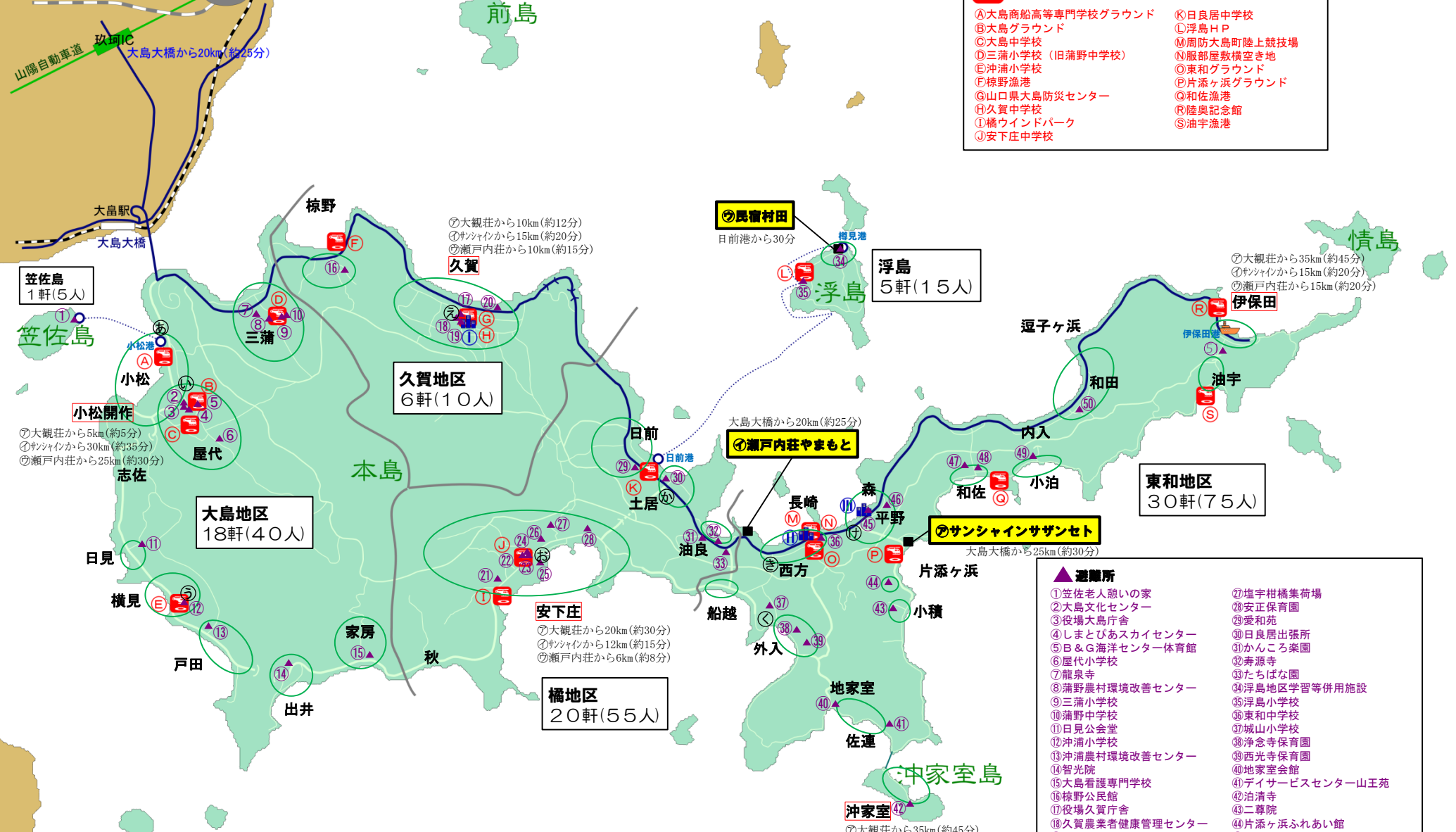
※ 上記はいずれも片道の料金(税別)になります。
 ※ 上記金額は参考料金ですので、詳しくは運航会社までお問い合わせください。
 問合せ先
 ■ 瀬戸内海汽船(株) 航路事業部 TEL:082-255-3342



(5) 周防大島民泊地図【80軒・200人】

緊急避難場所

①大島商船高等専門学校グラウンド	⑩日良居中学校
②大島グラウンド	⑪浮島H.P.
③大島中学校	⑫周防大島町陸上競技場
④三浦小学校 (旧蒲野中学校)	⑬服部屋敷横空き地
⑤沖浦小学校	⑭東和グラウンド
⑥棕野漁港	⑮片添ヶ浜グラウンド
⑦山口県大島防災センター	⑯和佐漁港
⑧久賀中学校	⑰陸奥記念館
⑨橋ウインドパーク	⑱油宇漁港
⑲安下庄中学校	



先生方の宿

- ⑦ホテルサンシャインサザンセント
- ④瀬戸内荘やまもと
- ②民宿村田

入・離村式会場

- ①山口県大島防災センター
- ⑪周防大島町総合体育館・陸上競技場
- ⑭東和総合センター

病院・医院

- ②町立大島病院
- ③おげんきクリニック
- ④野村医院
- ⑤山中クリニック
- ⑥町立橋医院
- ⑦安本医院
- ⑧町立東和病院
- ⑨川口医院
- ⑩しまかぜ在宅支援診療所

避難所

- | | |
|-----------------|----------------|
| ①笠佐老人憩いの家 | ⑦塩宇柑橘集荷場 |
| ②大島文化センター | ⑧安正保育園 |
| ③役場大島庁舎 | ⑨愛和苑 |
| ④しまとびあスカイセンター | ⑩日良居出張所 |
| ⑤B & G海洋センター体育館 | ⑪かんころ楽園 |
| ⑥屋代小学校 | ⑫寿源寺 |
| ⑦龍泉寺 | ⑬たちばな園 |
| ⑧蒲野農村環境改善センター | ⑭浮島地区学習等併用施設 |
| ⑨三浦小学校 | ⑮浮島小学校 |
| ⑩蒲野中学校 | ⑯東和中学校 |
| ⑪日見公会堂 | ⑰城山小学校 |
| ⑫沖浦小学校 | ⑱浄念寺保育園 |
| ⑬沖浦農村環境改善センター | ⑲西光寺保育園 |
| ⑭智光院 | ⑳地家室会館 |
| ⑮大島看護専門学校 | ㉑デイサービスセンター山王苑 |
| ⑯棕野公民館 | ㉒泊清寺 |
| ⑰役場久賀庁舎 | ㉓二尊院 |
| ⑱久賀農業者健康管理センター | ㉔片添ヶ浜ふれあい館 |
| ⑲久賀総合センター | ㉕東和総合センター |
| ⑳久賀ふるさと館 | ㉖西方寺 |
| ㉑長尾八幡宮 | ㉗観音堂 |
| ㉒安下庄中学校 | ㉘和佐八幡宮 |
| ㉓橋総合センター | ㉙小泊公民館 |
| ㉔安下庄小学校 | ㉚和島小学校体育館 |
| ㉕周防大島高校 | ㉛油田小学校 |
| ㉖潮宇区民館 | |

400名(10クラス)の共同受入体制

周防大島町
200名(5クラス)

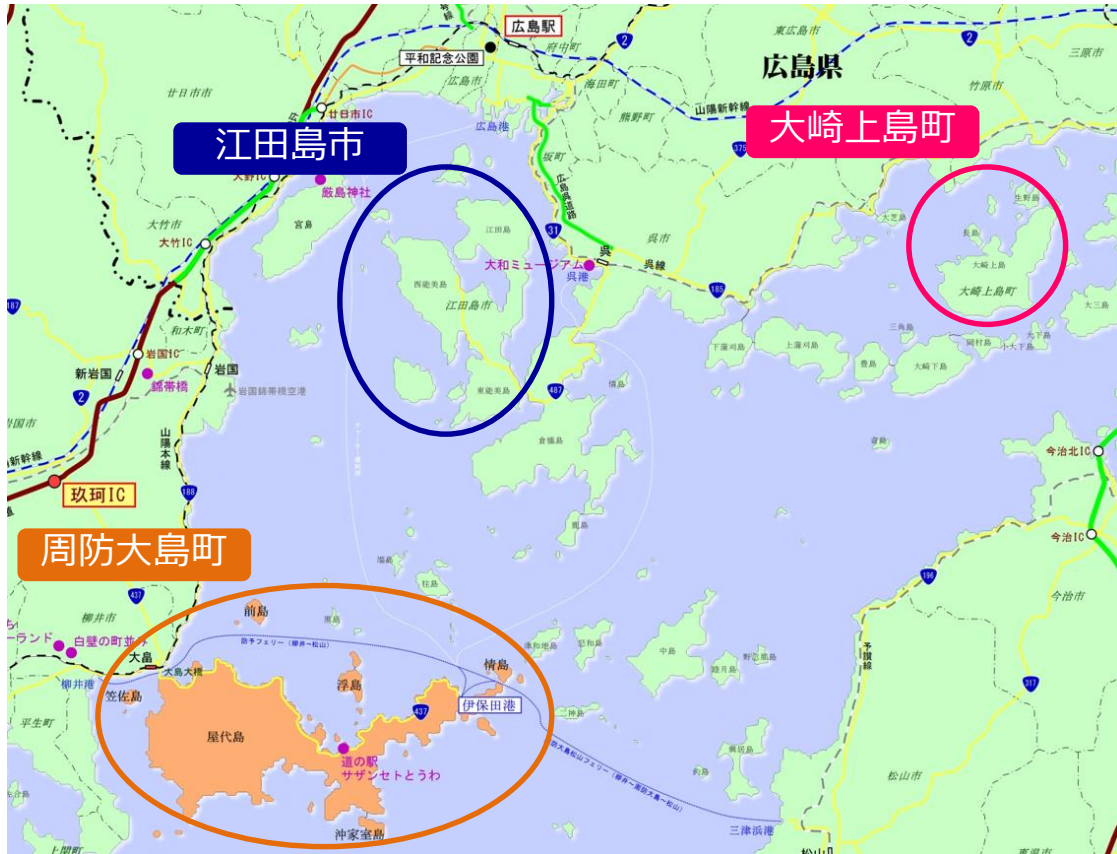
+

江田島市 200名
(5クラス)

または

大崎上島町 200名
(5クラス)

= 400名
(10クラス)



◆ 周防大島町の単独受入では200名(5クラス)が上限ですが、他地域と共同受入することで、最大400名(10クラス)を受入れることが可能です。

広島湾ベイエリア広域のなかでも、周防大島と同じ島の地域で海の体験が充実した江田島市や大崎上島町とおもに共同受入をしています。

◆ 過去の民泊共同受入実績

H24:高1校 H25:高1校 H26:高1校
H27:高2校 H28:高3校 H29:高2校
H30:中1校・高1校 R1:高1校

何故今、周防大島町なのか

1 瀬戸内のハワイ



美しい砂浜や穏やかな瀬戸内海を臨む風光明媚な眺めを満喫いただけます。ハワイ州カウアイ島と姉妹島縁組を結んでおり、フラダンスがさかんです。(写真:◆フラ体験 受入人数20名(※20名超ならグループを分けて対応))



◆郷土料理づくり

・受入人数:20名
ハワイの郷土料理ポキを周防大島風にアレンジ。そのほかジンダ味噌や茶がゆも作ります。



◆ビーチコーミング

・受入人数:20名
海岸に打ち寄せられた貝殻やガラス片でアクセサリを作ります。

2 海の恵みを体験



都会や山間部の子どもたちに、広大な海の大自然に触れながら体験いただけます。生きた魚をさばくことで、魚への苦手意識も克服できます。(写真:◆地引網漁体験 受入人数60名))



◆カヌー体験

・受入人数:40名
潮の流れや満ち引き、波のしぶきや揺れなどを肌で感じながら、1km先の無人島まで航海します。



◆波止釣り体験

・受入人数:20名
いろいろな魚を釣ることができ、釣れたときの達成感や喜びを感じることができます。

3 山の自然を体験



島の中央部は山になっているため農業もさかんです。なかでもみかん栽培は町の主要産業で、山口県全体の8割の生産量を占めます。(写真:◆みかん収穫体験 受入人数40名)



◆竹のぼんぷら飯づくり

・受入人数:20名
竹林から竹を切り出したのち、竹の節を利用して、蓋を切り抜いてから水を入れてご飯を炊きます。また竹で作ったマイ箸を使った食事で、環境保全意識を醸成します。





船釣り



タコ漁



みかん収穫



稲刈り・はぜかけ

【農漁業を体験：生徒の声】

- ・「日によって魚がたくさん釣れる時もあればまったく釣れない時もある」というお話を聞いて、お魚を食べる時、そのことを思い出しながら大切に食べるようになった。
- ・生の魚や虫に触ることが苦手で避けていましたが、民泊で怖がりながらも触れたので、自分の中で成長できたと思いました。

【家の中での体験：生徒の声】

- ・みんなでそろってごはんを食べたことが良かった。
- ・大人と話すことが好きになった。
- ・何か手伝えることはないかと、周りを見れるようになった。
- ・家族とごはん中にたくさん話すようになった。
- ・食べ物を買って食べるだけでなく作って食べるのもいいなと思った。



魚さばき



茶豆むき



夕食づくり

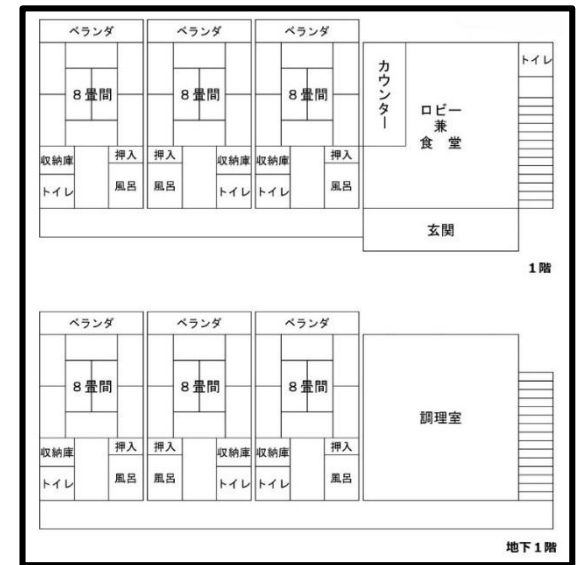
本部宿舎 (2)

瀬戸内荘やまもと

島の中央に位置し、民泊先へのアクセスに便利。



館内図



住所：周防大島町大字西方25-1

TEL：0820-78-1070 FAX：0820-78-0044

◆定員 24人 (6部屋)

◆場所 大島大橋から22km、車で30分。島内各地域の民泊家庭宅までの平均移動時間は20分程度です。

◆本部宿舎としての予約について
ご予約は当協議会にご用命ください。

～新学習指導要領改訂に対応して～ 「主体的・対話的で深い学び」のために

新学習指導要領の改訂で従来からの「生きる力を育む」に加えて「主体的・対話的で深い学び」の視点から特別教育活動、とりわけ修学旅行等で、その実現に向けての期待が高まります。主体的に事前、事後学習を行うことに加え、現場での対話的な体験学習により狙いの深い学びとなります。旅行先での学習のテーマは地域事情に合致したものでなくてはなりません。地域の魅力と課題を示すことにより主体的なテーマの選択が可能となります。

周防大島の魅力

①地域のパワーが強く、皆元気！

→地域の結束が強い上、U・Iターン者も多く受入れる開けた住民性。明治から昭和の初めにかけて、多くの住民が遠くハワイまで出稼ぎに行き財を成して帰ってきました。

②農業も漁業も一生懸命！兼業の家庭も多い。

→みかんの島と呼ばれています。会社勤めをしながら、みかん畑を経営したり、魚の漁に出たり、多彩な営みをしています。「田舎は暇」なんてことはありません。

③自然との共生・豊かな自然と共に生きる生活。

→目の前は美しい海、背後には緑豊かな山々が広がる周防大島は、「瀬戸内のハワイ」と呼ばれています。

周防大島が抱える課題

①全国でトップクラスの高齢化率(53.66%)

→1万人を超える人口規模の市町村の中で、最も高齢化が進んでいる。[2019年10月末時点]

②農業漁業を中心に、次世代の担い手不足が深刻。

→荒れ地や山を耕して作ったみかん畑が、担い手がいなかったため休耕田・山に戻ってしまっています。

③猪などによる獣害の爆発的増加。

→農作物の被害は増える一方であり、捕獲はとても追いつかない状況。



「主体的・対話的で深い学び」体験プログラム(1)

海岸清掃プログラム～漂着ゴミから学ぶ海のこと・人々のこと～

目的

瀬戸内海沿岸では様々な人が海と共に暮らしています。周防大島には美しい海・白い砂浜が広がっていますが、様々な漂着ゴミが見受けられます。このプログラムでは、ただゴミを拾うのではなく、漂着ゴミの種類にも着目します。漂着ゴミは、誰かが作ったものを誰かが捨てている。作る側は生分解できるものを作る、使う側は捨てたらその後どうなるか考える等、それぞれの責任を考えます。さらに、そこから瀬戸内海やそこで漁業を営む人々の影響、本当の海の豊かさとは何かを考えます。

教育効果

環境・自然への意識の変化
 日常の風景から問題提起を行うことで養う探究力

人数等

体験人数/240人 時期/通年 時間/2～3時間程度

≪ SDGs 取組プログラム ≫
 1 2. つくる責任 つかう責任
 1 4. 海の豊かさを守ろう



■体験の流れ

事前学習

瀬戸内海の産業について
 学校で事前学習。



現地説明

町役場生活衛生課による、
 牡蠣の養殖パイプなど漂着
 ゴミの実物を見ながらの
 説明。



調査・体験

実際に海岸清掃を行い、
 気になった漂着物等を調
 査する。



報告物作成

学校で発表。民泊と合わ
 せて行うことにより、離
 村式での発表も可能。
 発表後は、町協議会から
 感謝状を贈呈。

■現地でのスケジュール※プログラム後の民泊がおすすめです

9 : 00	9 : 10	9 : 40	10 : 00～11 : 30	11 : 30	12 : 00
集合・インストラクター 紹介	瀬戸内海の現状や 問題点を説明	分別等説明	体験開始(海岸清掃)	体験のまとめ 気づきの発表等	解散

「主体的・対話的で深い学び」体験プログラム(2)

キャリア教育プログラム～自然を活かした事業から学ぶ地域活性化～

目的

広大な自然に囲まれた周防大島では、I・Uターン者をはじめとした多くの事業者が、その自然を活かし、特色ある持続可能な事業を展開しています。このプログラムでは、地域の特性に合わせた持続可能な働きがいのある事業展開を考え、地域産業の基盤を整えて、今後も住み続けられるまちづくりの手法、事業の営みについて学びます。

教育効果

地域の特性を考えながら事業展開を探究する企業家思考
自然の恵みを生かし、大切にする境保全意識

人数等

体験人数/100人 時期/通年 時間/3時間程度

≪ S D G s 取組プログラム ≫

- 8. 働きがいも経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11. 住み続けられるまちづくりを



■体験の流れ

事前学習

周防大島の地理的条件や地元産品について学校で事前学習し、おおまかな事業のアイデアを考える。



現地説明

地元事業者から、事業への取組みや地域活性化の意義について説明。



調査・体験

事業所の見学や体験をしながら、あらかじめ考えてきたアイデアを膨らませ、実現可能性や事業展開にあたっての注意点など、ブラッシュアップさせる。



報告物作成

学校で発表。民泊と合わせて行うことにより、離村式での発表も可能。発表後は、町協議会からアイデア表彰状を贈呈。

■現地でのスケジュール※プログラム後の民泊がおすすめです

9 : 00	9 : 10	9 : 50	10 : 30	11 : 30	12 : 00
集合・インストラクター紹介	事業者より事業の取組みや地域活性化について説明	事業所見学・体験	事業者と質疑応答など話し合い	事業アイデアの発表	解散